

第1回 協働のまちづくりを実現する町民討議会議の記録



2012年 2月

愛知学泉大学現代マネジメント学部伊藤研究室

目 次

1. はじめに	・・・ 1
2. 町民討議会議開催の経緯について	・・・ 1
3. 町民討議会議の記録	・・・ 2
10月30日【第1日目】 の記録	
【第1ラウンド】	・・・ 2
ステップ2：30年後の豊山町	
【第2ラウンド】	・・・ 4
ステップ5：説明に対する質問を考える	
【第3ラウンド】	・・・ 6
ステップ7：重点戦略の中で、多くの住民の理解と協力が必要だと思う項目を考えよう	
ステップ8：各グループの話し合いの結果について全体で確認します	
11月6日【第2日目】 の記録	
【第4ラウンド】	・・・ 8
ステップ3：総合計画の中の重点事業以外に必要なと思う重点事業を提案する	
【第5ラウンド】	・・・ 8
ステップ5：総合計画の中の重点事業以外に必要なと思う重点事業を提案する	
【第6ラウンド】	・・・ 10
ステップ6：重点事業の官民協働を考える	
4. 資料	・・・ 14
(1) 広報とよやま 平成23年7月号	
(2) 広報とよやま 平成23年8月号	
(3) 広報とよやま 平成23年12月号	
(4) 中日新聞記事 平成23年11月1日	
(5) 朝日新聞記事 平成23年12月4日	

1. はじめに

豊山町町民討議会議は、①協働のまちづくりに対する意識向上の機会とする。②町政に対して従来サイレントマジョリティーであった多様な町民の意見を反映する。③総合計画の見直しに向けて幅広い町民の意見を今後4年間にわたり蓄積していく、ことを目的として、平成23年度に第1回目が実施されました。

町民討議会議では、全町民（18歳以上）から無作為抽出され、参加を承諾した町民43名が有償で、2日間にわたり、第4次総合計画において重点戦略として位置づけられた事業について話し合いました。

2. 町民討議会議開催の経緯について

豊山町では町民討議会議開催に向けて、まず、2010年12月4日に「コミュニティと自治体をつなぐ町民討議会議」と題したシンポジウム(於：社会教育センター)を開催し、2011年度から実施する町民討議会議について広く学ぶ場を持ちました。

その上で、2011年4月以降、本格的な開催準備がなされ、広報とよやま2011年7月号で今年度の開催日程、テーマなどが全町民に対して告知されました。また、広報とよやま2011年8月号では、参加者（定員50名）を公募ではなく無作為抽出を経て決定することや無作為抽出された2,000名の町民には、町民討議会議の案内・参加承諾ハガキとアンケートが送付されること、参加の意思表示は参加承諾ハガキへの記入・返送により受け付けること、参加を希望しない場合もアンケートを回答できることが告知されました。

2,000名の町民の無作為抽出は、豊山町が住民基本台帳を基に行ない、町民討議会議の案内と参加承諾ハガキ、アンケートは9月8日に発送され、9月23日までに参加承諾はがきについては豊山町役場に、アンケートについては南山大学前田研究室宛に返送を求めました。

参加承諾ハガキにより参加希望を表明したのが66名であったため10月7日に町役場で抽選を行ない55名の参加者を決定して、参加者決定通知を送付しました。10月30日・11月6日の2日間の会議に実際に参加したのはそれぞれ42名でした。（一日参加者がそれぞれ1名で総数43名が参加）アンケートについては、414名（回収率21%）から返信を得ることができました。



3. 町民討議会議の記録

10月30日【第1日目】

- ・第4次総合計画の見直しの論点について話し合うことを目的とした第1回豊山町町民討議会は、鈴木町長の挨拶によって始まりました。全体の進行についての説明の後、緊張の中、早速第1ラウンドのグループディスカッションがスタートしました。
- ・第1日目は、総合計画の中の重点戦略の概要を理解し、優先課題を話し合うプロセスを通して理解と問題意識を共有することが主な目的です。

【第1ラウンド】

ステップ2：30年後の豊山町

- ・30年後の豊山町で是非実現していて欲しい目標をグループで話し合っって3つ考えてください。

- ・第1ラウンドは、総合計画の詳しい情報提供をする前に自分自身の生活体験を基に自由に30年後の豊山町について語り合うことが目的です。グループから提案されたすべての項目を同一内容と同種の内容に整理し、シール投票の数字をまとめたものを表-1としてまとめました。
- ・表-1を見ると、
 - ①単独項目では、「総合病院の建設」が20票を集めて最多項目となっています。
 - ②同一内容の項目を整理した結果を見ると「公共交通機関の充実」と「総合病院の建設」が並んで20票を獲得して1番多い項目となっています。
 - ③他に同一項目で多いのは、17票の「交通・道路整備」、16票の「土地の有効利用」、13票の「老人や子供が安心して暮らせる町づくり」です。
 - ④「身の丈にあった街づくり」という項目が12票を集めたのは興味深い点だと思います。
 - ⑤同種の項目を見ると、交通・道路関係の47票が1位で、子育て・子ども・高齢者への配慮が27票で2位、空港・企業誘致・産業活性化が25票で3位、単独項目ながら総合病院の建設が20票で4位、土地の有効活用が16票で5位、以下「身の丈にあった街づくり」、「災害時の避難場所の確保」、「町内コミュニケーションの充実した町」が続きます。
- ・全体としては、交通機関・環境の整備に大きな関心があることが浮かび上がっているとと言えます。



表ー1 「ステップ1「30年後の豊山町」 シール投票の結果：1人5票」

提案項目	単独	同一	同種
1. 交通機関の充実	6	20	47
2. 交通機関の充実	5		
3. 交通機関の充実（地下鉄の乗り入れ）	4		
4. インフラ整備	3		
5. 公共交通の整備	2		
6. 交通機関の整備と道路整備	10	17	
7. 交通・道路整備	7		
8. 車・自転車・歩道の全分離	10	10	
9. 高齢者に配慮された街	9	9	27
10. 老人や子供が安心して暮らせる町づくり	7	13	
11. 子供・高齢者が安心して暮らせる（田んぼ、広場、公民館の活用）	6		
12. 育児環境の整った町づくり	5	5	
13. 空港の活用	11	11	25
14. 企業誘地（空き地利用）	8	8	
15. 産業の活性化	6	6	
16. 総合病院の建設	20	20	20
17. 土地の有効活用（温泉・レジャー施設）	10	16	16
18. 総合エリア(商業、福祉、医療、防災が充実)	6		
19. 身の丈にあった街づくり	12	12	12
20. 災害時の避難場所の確保（均等化など）	10	10	10
21. 町内コミュニケーションの充実した町	10	10	10
22. スポーツ振興	9	9	9
23. 伝統技能伝授	8	8	8
24. 戦没者の慰霊が町として必要	8	8	8
25. 自給自足（農業の再生）	7	7	7
26. 教育環境整備	5	5	5
27. 市に昇格する	3	3	3



【第2ラウンド】

ステップ5：説明に対する質問を考える

- ・グループ内で各自がもっと説明してほしい点を出し合い、是非全体で確認しておきたい質問を3つ考えて下さい。

- ・第2ラウンドは、総合計画の中で重点戦略として挙げられている7つの項目について事務局が概略説明し、内容についての理解を深めることを目的としてグループで質問を考える話し合いをしました。

[重点戦略として説明された7つの項目]

- a) 地域の絆や交流のさらなる醸成
- b) 子育てしやすい環境づくり
- c) 空港を活用した交流の促進
- d) 航空宇宙産業をはじめとした産業の強化・育成
- e) コンパクトにまとまった魅力ある定住環境の創造
- f) タウンバスを中心とした公共交通の充実
- g) 庁内各部門の連携や広域連携の強化

- ・各グループから出された質問を項目別にグルーピングしたものを下記に整理しました。
 - ①「公共交通政策」に関する質問が最も多く6つのグループから出されました。タウンバスのルートや便数に関する質問、タウンバスの利用や増強についての提案に触れたものもありました。
 - ②重点戦略以前の前提となる「人口目標、少子化対策」に関する質問や意見が4グループから、総合計画策定の際に実施された「意識調査に関する質問」が2グループから出ています。
 - ③「防災対策についての質問」、「福祉政策、福祉施設についての質問」、「空港活用と産業政策についての質問」、「道路（遊歩道）・下水道の整備についての質問」は、それぞれ3グループから出されました。
- ・第2ラウンドの結果からも公共交通政策に対する関心の高さがうかがわれます。

[質問カードの内容]

1 意識調査に関する質問

- 1) 町民と中学生の意識調査にズレがあるが、どちらに重点を置いて見ているのか？
※アンケートの実施数(2000)に対して、回収率(38.6%)ではサンプル数として少ないのか？
- 2) 意識調査の結果について
※他自治体との比較、過去との比較

2 人口目標、少子化対策に関する質問

- 3) 様々な計画に充てる財源の見通しは？
※人口指標 2.4人/世帯では不足！
- 4) 15歳未満人口の構成割合 12.6%
※数字の根拠、高い目標なのか、最低限なのか？
- 5) 世帯、人口増加の具体案

6) 少子化に対して（子育て）町としての具体的対策

3 公共交通政策に関する質問

7) 公共交通(バス)の充実計画は？

※駅への連絡、バス停の充実)

8) 交通（具体的な整備計画）

9) 路線バス、ルート、便数増強あるか？

※勝川方面のルートが薄い？自転車活用なら駐輪場整備は？

10) 交通の便が良くないことに対して検討されているのか？

※タウンバスの利用率は？

11) 町外への路線バス・町内循環バスの有効な手立てを考えてほしい。

12) 重点戦略に基づく具体的な施策案

※タウンバスを中心とした公共交通の充実

4 防災対策についての質問

13) 災害施設の具体化

14) 災害時の避難について

※防災計画は？

15) 地震発生時の災害対処計画

5 福祉政策、福祉施設についての質問

16) 現有の福祉施設の具体的な見直し案は？

※魅力ある施設がなければ周遊しない。

17) 高齢者に対するの対策の説明を具体的に説明してほしい。

18) 福祉（高齢者・若年者）

6 空港活用と産業政策についての質問

19) 航空宇宙産業をはじめとした産業の強化育成と交流の促進状況は？

20) 空港の活用方法について具体的に考えている事は？

※空港活用とは空港内建物なのか、空港外施設づくりなのか？

21) 企業商業施設誘致の具体案

7 道路(遊歩道)・下水道の整備についての質問

22) 環境対策・遊歩道の設置

※コミュニケーションの機会を増やす等

23) 下水道完備の進捗は？

24) 下水道工事

※今後10年の計画に含まれているのか？計画通り行われているのか？

8 その他の質問

25) 子供中心の地域コミュニケーションになっていないか？

※全体交流の場に対する町のバックアップの状況を知りたい。

26) 過去の歴史を見直すプロジェクトの有無は？

※慰霊碑あつての未来

27) 合併は？自立路線か？

※住所の表記、西春日井郡は不要？

【第3ラウンド】

ステップ7：重点戦略の中で、多くの住民の理解と協力が必要だと思う項目を考えよう

- ・総合計画にうたわれている7つの重点戦略について、10年後に実現するためには、今後多くの住民が関わっていくことが重要だと思う項目の上位3つを選んでください。

- ・第3ラウンドは、重点戦略に対する共通理解をさらに進めることを目的として、各グループで重点戦略に対する優先順位を話し合ってもらいました。
- ・それぞれのグループが選んだ3つの項目に○を付け得点化して合計した内容を表-2にまとめています。
- ・表-2を見ると、
 - ①「タウンバスを中心とした公共交通の充実」が7.5票で最も多くのグループで選ばれています。
 - ②「地域の絆や交流のさらなる醸成」が6.5票、「子育てしやすい環境づくり」が5票で続き多くのグループで選ばれています。
 - ③「航空宇宙産業をはじめとした産業の強化・育成」、「空港を活用した交流の促進」、「コンパクトにまとまった魅力ある定住環境の創造」、「庁内各部門の連携や広域連携の強化」の項目を選んだグループが少ないのは、多くの住民の理解と協力が必要な項目という質問内容が影響していると考えられます。
- ・ここでも「タウンバスを中心とした公共交通の充実」は最も関心が高い項目であることが確認できました。

表-2 [グループで選んだ項目] ※△は4つ目の項目として選ばれたもの

重点戦略	グループ番号									選択数の合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
a) 地域の絆や交流のさらなる醸成	○	○	○	○	○		○	△		6.5
b) 子育てしやすい環境づくり		○		○	○		○	○		5
c) 空港を活用した交流の促進						○	○			2
d) 航空宇宙産業をはじめとした産業の強化・育成	○							○	○	3
e) コンパクトにまとまった魅力ある定住環境の創造		○	○							2
f) タウンバスを中心とした公共交通の充実	○	△	○	○	○	○		○	○	7.5
g) 庁内各部門の連携や広域連携の強化										0

ステップ8：各グループの話し合いの結果について全体で確認します

- ・各グループの結果を全体場で発表してもらいます。最後に個人アンケートにお答え下さい。
- ・さらにステップ8ではステップ7の結果を踏まえて、グループの意見に反映されなかった個人の意見を確認する意味で、個人個人で重点戦略に対して関心の高い項目を選択してもらい、結果を表-3にまとめています。
- ・表-3を見ると、個人の選択順位はグループの選択順位と同じ結果となっています。
 - ①「タウンバスを中心とした公共交通の充実」が32票
 - ②「地域の絆や交流のさらなる醸成」が24票
 - ③「子育てしやすい環境づくり」が21票
 - ④グループでは、選択されなかった「庁内各部門の連携や広域連携の強化」は、5票
- ・「庁内各部門の連携や広域連携の強化」の項目は、情報提供の内容が不十分で参加者がよく理解できなかった面もあると考えられます。

表-3 [個人アンケートの結果]

重点戦略	得票数
a) 地域の絆や交流のさらなる醸成	24
b) 子育てしやすい環境づくり	21
c) 空港を活用した交流の促進	15
d) 航空宇宙産業をはじめとした産業の強化・育成	16
e) コンパクトにまとまった魅力ある定住環境の創造	11
f) タウンバスを中心とした公共交通の充実	32
g) 庁内各部門の連携や広域連携の強化	5



11月6日【第2日目】

- ・第2日目は、重点戦略の中に位置づけられている、より具体的な重点事業について事務局より説明し、重点事業として今後見直していくべき項目をグループで話し合うことから始めました。
- ・最後に18の重点事業に加えて、話し合いから提起された新たな事業も含めた課題を官民協働という視点から評価しました。

【第4ラウンド】

ステップ3：総合計画の中の重点事業以外に必要なと思う重点事業を提案する

- ・重点戦略として説明した8つの事業以外に是非取り組むべき重点事業をグループで話し合っ、3つ以内を提案してください。

【第5ラウンド】

ステップ5：総合計画の中の重点事業以外に必要なと思う重点事業を提案する

- ・重点戦略として説明した10の事業以外に是非取り組むべき重点事業をグループで話し合っ、3つ以内を提案してください。

- ・ステップ3とステップ5で提起された新たな事業を内容的に同一のものと、同種のものに整理して、シール投票の結果を表-4にまとめました。
- ・表-4を見ると、
 - ①単独項目で最も多くの参加者の共感を呼んだ項目は、「訪問医療」の18票でした。第1ラウンドで「総合病院の建設」が20票で最も多くの参加者が選んだことの反映と考えられますが、総合計画に関する行政からの情報提供を聞き、グループで話し合うプロセスを経ることで、総合病院の建設が困難であることを理解し、新しいアイデアとして訪問医療の仕組みが提案されたことは、注目すべき点だと思います。
 - ②単独項目で「エネルギー自給自足（ソーラー等）」が17票を集めたことも興味深い結果だと思います。
 - ③同一項目を見ると、空港の活性化関連の項目が61票で最も多く、空港に対する関心と期待が高いことが現れています。
 - ④他に同一項目では、「道路整備関係」29票、「広報、PR関係」26票、「バス停、駐輪場整備」25票、「災害対策」21票、「緑化関係」20票が上位に上がっています。
 - ⑤同種の項目にまとめてみると、「交通関係」62票、「空港関係」61票、「広報関係」44票、「緑化関係」28票、「コミュニティ」27票、「災害対策」21票、「住環境対策」19票、「食の流通と安全」19票、「訪問医療」18票、「エネルギーの自給自足」17票の順となっています。
- ・重点事業に挙げられた項目以外で注目すべき提案としては、豊山町のアイデンティティとしての空港に対する思いの強さと広報に対する重要性の指摘、災害対策、緑化に対する関心の高さなどが挙げられると思います。

表ー 4 「ステップ 3・5「重点戦略以外に必要な事業」

シール投票の結果：ステップ 3 と 5 でそれぞれ 1 人 5 票]

事業内容	単独	同一	同種
1. 中央分離帯整備事業	11	29	62
2. 交通上の危険を回避する為の道路整備	10		
3. 春日井稲沢線周辺の道路整備	8		
4. バス停整備事業、駐輪場、屋根等	12	25	
5. 公共交通充実の一環としての駐輪場の整備(バス路線との連携)	9		
6. 駐輪場整備事業	4		
7. タウンバス以外の交通機関	8	8	
8. 空港利用のアピール、ゆるキャラ公募、旅行代理店との連携	16	61	61
9. 空港関連イベントの PR	14		
10. 空港名に「豊山」を入れ、「豊山町に空港あり！」をアピール	11		
11. 観光ツアー（旅行会社との連携）	10		
12. 空港利用各種競技会	6		
13. 「空の道広げたい」に子供も参加	4		
14. 空港内に渡航地の PR	0		
15. とよやまチャンネルの活用、動画も入れて(情報発信が少ないので、サービス・施設を利用しにくい、どこで何をやってるの?)	10	26	44
16. 今ある事業を知らない人が多い	10		
17. ファミリーサポートセンターの詳しい内容・実状、PR しているかどうか?	6		
18. タウンバス時刻表、防災マップ等の各家庭への配布	11	18	
19. 広報活動の充実 ・タウンバスの PR (活動のよびかけ) ・スターキャットの広報の充実	7		
20. 緑化区域の整備	16	20	28
21. 緑地帯長期確保	4		
22. 校庭・園庭の芝生化事業	8	8	
23. リーダー育成事業(a)	16	16	27
24. 各地区に対してコミュニティ組織が整備されているか?	6	11	
25. 豊山小・志水小にもコミュニティを!	5		
26. 災害対策(ため池は整備されているのか)	12	21	21
27. 防災・災害時の避難場所のありかた(経路・備蓄 etc.)	9		
28. 産業強化地域の安全、住民の生活空間の確保	14	19	19
29. 発展に伴う住環境悪化に対する施策(10年～30年先では遅くないか?)	5		

30. 食の流通（言葉だけではないか、協定などの説明）	15	19	19
31. 「北部市場の有効利用」食の安全とは？	4		
32. 訪問医療	18	18	18
33. エネルギー自給自足（ソーラー等）	17	17	17
34. 町内の美化、防犯（役場 OB による町内巡視）	15	15	15
35. 町をあげてのお祭り、イベント	14	14	14
36. NPO 法人設立サポート事業(b.a)	10	10	10
37. 町の活性化、有識者会議	10	10	10
38. 企業誘致をした場合の税関関連	10	10	10
39. 過去の歴史を見直した慰霊	9	9	9
40. 交流支援事業、同窓会や異業種など	6	6	6
41. 生涯学習事業の推進	5	5	5
42. 外国人との付き合い	5	5	5
43. スカイプール・図書館を有効利用。年間通して使用したり、形態を工夫したり。	5	5	5
44. A 地区に準工業企業誘致、地元住民雇用を	5	5	5
45. イチロー以外の有名人の輩出	0	0	0

【第6ラウンド】

ステップ6：重点事業の官民協働を考える

- ・ 18の重点事業に対して、新たに提案された重点事業を加えた中から官民協働の視点から考えたとき、10年後の豊山町にとって特に重要だと思う事業を5つ選んでその理由を教えてください。

- ・最後に18の重点事業に加えて新たに提起された事業の中から5つの事業をグループごとに話し合って選択しました。すべての項目について内容的に同種のことをグルーピングしてその理由とともに表-5にまとめました。
- ・重点事業として説明した18事業と今回の町民討議会議の中から提案された45項目の重要事業を合わせた中から選択された結果をみると、
 - ①タウンバスを中心とした公共交通の充実や、それに伴うバス停の整備と駐輪場の設置、タウンバスの時刻表の配布やPRなどの公共交通機関に関する提案が9グループ中8グループから出され最も多い項目でした。
 - ②空港の活用やアピール、豊山を空港名に入れるなどの空港関係の提案が6グループから出され2番目に多い項目でした。
 - ③住民リーダーや若手職員の育成、コミュニティ組織の育成などソフト面の人材や組織育成に関する提案も6グループから出され今後の重要課題であることが認識されています。
 - ④防犯・美化・緑化に関する提案は4つのグループから指摘されています。
 - ⑤エネルギーの自給自足は、重点事業にはなかった内容ですが、3つのグループで提案

されました。

⑥道路整備、災害対策、訪問医療・広域医療圏ネットワーク整備もそれぞれ3グループから提案されています。

⑦航空宇宙産業の育成、PR事業、まちづくりイベント開催が2つのグループから提案されています。

⑧その他、食の流通、ファミリーサポート事業、下水道の早期達成の提案がありました。

- ・今回の2日間を通して、官民協働で取り組むべき重要課題としてタウンバスを中心とする公共交通の課題は一貫して参加者の高い関心事であることが示されています。
- ・空港の活用や活性化についても住民レベルで関心の持てることや協働できることを考えることが求められています。
- ・コミュニティ組織の育成については、リーダーの育成という項目が具体的に提案されました。
- ・エネルギーの自給自足、総合病院の建設に替わる訪問医療などの新しい仕組みの整備など従来の重点事業にない視点も今回の町民討議会で提案された貴重な成果であると言えるでしょう。

表-5 [ステップ6「重点事業の官民協働を考える」 グループで5つ選択とその理由]

事業内容	理由
1. とよやまタウンバス	・バスは必要
2. タウンバスの活性	・町内フリー乗下車
3. とよやまタウンバスの運行 地域公共交通活性化計画	・高齢者の足として
4. タウンバスを中心とした公共交通の充実	・自家用車から公共交通への自発的な転換
5. バス停整備によるタウンバス利用者の促進	・豊山町の交通のウィークポイントの克服！ ・雨の日に屋根がついていたら、もっと使いやすくなり、利用者も増えるのでは？
6. バス停の整備と駐輪場の設置	・官に指導していただき、民が利用を増やし、住民の定住率UPを図る ・町民以外の人でも利用しやすくするためにも早急に屋根、駐輪場が必要である ・タウンバスの存続・発展のためより、利用しやすくする。町民もそのために積極的に利用する
7. インフラ整備事業 (タウンバス停、駐輪場)	・タウンバスの利用率をあげるため ・駐輪場の確保 ・タウンバス事業と合わせて駐輪場整備
8. タウンバス時刻表の配布、防災マップ等の各家庭への配布	・乗り継ぎや待ち時間の抵抗感をなくし、公共交通の利便性を高めます
1. 空港を活用	・豊山町の存在をアピール！
2. 旧空港用地を活用した地域振興	・雇用の創出 ・税収の確保
3. 空港利用のアピール	・町の活性化 ・航路の増便
4. 空港をもっとPR	・住民がもっと意義を高めて、口コミを使ってPRしよう！ ・小牧空港と呼ばれないために産業の誘致や声をあげていくべきだと思う

	<ul style="list-style-type: none"> ・空港が存在している市町村は少ないため、積極的にPRすることで地域活性化へつながるのでは ・町のシンボル空港のPRは町の活性化にもつながる ・豊山町の名前PR
5. 空港名に「豊山」	
6. 豊山の名をつけた空港名に空港のアピールをする	<ul style="list-style-type: none"> ・町の特徴を生かすため ・空港アピール ・豊山空港 ・空港のアピール必要！
1. リーダー育成事業	<p>町民参加意識向上 世代交代がスムーズにできるように</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー育成（引きつぎの時期がきている） ・リーダー育成 ・町民の地域に於ける参加意識（町の行事など）
2. リーダー育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等の企画実行に必要なノウハウを持つ人が少ないから
3. リーダー育成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にきめ細かいサービスをするために官民協力が不可欠 ・リーダーをする環境、やって良かったと思う育成が必要、バックアップも大切だと思う ・新たなリーダーを発掘するためには、地域一体となりリーダー育成に取り組み、協力することが不可欠である ・町の成長には町民の成長なしではできない。そのため、官民に関わらず人材の育成をすべき。費用対効果は考えず、数十年以上の長い目で見るとべき
4. リーダー育成	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーのノウハウ
5. コミュニティ組織育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のような、町民参加の会議を充実させる。コミュニケーションの場を広げることができる ・討議会の充実（話し合い、コミュニケーション）
6. 町役場、各部門の連携と活性化（若手職員の育成）	
1. 防犯、美化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・低予算ですぐとりかかれる ・防犯、シルバーの方や時間的に余裕のある方がそれぞれの地域で巡回（低予算） ・すぐに実行できる ・緑化事業、中央分離帯、10年以内、予算・活用場所があるのですぐにできる
2. 豊山町内の美化	<ul style="list-style-type: none"> ・誇りがもてる町にして、各々の意識を高める ・町内の美化防犯
3. 緑化事業の推進、美しい町づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の緑、美化、季節ごとにプランターなどでかざる。
4. 校庭、園庭の芝生化 緑化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・防じん効果
1. エネルギーの自給自足	<ul style="list-style-type: none"> ・資源の長期利用
2. エネルギー自給自足	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ、メガソーラー、広域土地
3. エネルギー自給自足（ソーラー等）	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー意識の普及啓発
1. 春日井稲沢線	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街通り（県営名古屋空港）
2. 道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞の緩和（渋滞が多い） ・道路が狭い ・昔からの細い道が残っている

3. 人の安全を優先にした道路整備	<ul style="list-style-type: none"> 人と自転車・車が円滑に歩き、走れる道路。健康のために町では歩くようにと進めているが、気分よく歩け、走れる道路がほしい 緑が必要とも言うが、雑草・ゴミがよく落ちているが、その清掃が必要ではないでしょうか？
1. 災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 水害対策が不十分 水はけが悪い ため池がない（大山川）
2. 災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 広域土地
3. 災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 街頭消火施設などの消防設備の整備
1. 訪問医療	<ul style="list-style-type: none"> 足がない老人のため
2. 訪問医療の充実	<ul style="list-style-type: none"> 病院＋町医院とつながり
3. 広域医療圏業務負担事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療体制の充実
1. 航空産業の育成	<ul style="list-style-type: none"> 航空（宇宙）産業は、町の産業の核にする（なる）べき、雇用の際も官民積極的にするべき 産業の活性化→住民の増加→地域活性化→税収 UPで政策実現 集客が望めないのなら、別の手段を考えるべきである日本だけでなく世界を視野に入れて考える 税収 UP、一般産業と比べて単価が高い 長期的成長が見込まれる企業・産業を育てていけば、町の税収も安定する
2. 航空宇宙産業の育成	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致および雇用促進のため 特徴を利用し企業誘致及び雇用のため住民の理解・協力が必要 地域住民の雇用促進 産業の強化 町の活性化
3. PR事業（イベント、広報）	<ul style="list-style-type: none"> 航空・宇宙を全面とした町おこし（観光誘致） 食の流通、災害時の整備等の説明をしてほしい シンボル事業、航空・宇宙を前面に出した町全体のイベント とよやまチャンネル
4. PR事業	<ul style="list-style-type: none"> 豊山の活性化につなげるためにまずはPR！！ 豊山町の事業について知らないことが多いから 行政及び各種事業を住民に周知するため
1. まちづくり推進	<ul style="list-style-type: none"> 町主催のイベントを実施
2. 豊山祭の企画、実行	
1. 食の流通	<ul style="list-style-type: none"> みんなに豊山町に来てもらうため
1. ファミリーサポート事業	<ul style="list-style-type: none"> 家庭に埋もれている有能な人材の活用、※高齢者と子供たちの交流も 子育て環境を整備することで、他の市町村からの移住を見込める 孤立したり、悩まないためにも、保育所や託児所の整備が必要。合併するだけでは無理がある 女性の労働力は以前に比べ大変重要。それを無駄にしないため、子育て環境の整備は不可欠
1. 下水道の早期達成	<ul style="list-style-type: none"> 工期がかかりすぎもっと早く

4. 資料

- (1) 広報とよやま 平成23年7月号
- (2) 広報とよやま 平成23年8月号
- (3) 広報とよやま 平成23年12月号
- (4) 中日新聞記事 平成23年11月1日
- (5) 朝日新聞記事 平成23年12月4日

